

令和3年度 幼児教育学科 専任非常勤教員合同会議議事録

日 時：2021年9月2日（木）13：00～14：30

担当者：米川（欠席）、村上、上野（書記）

場 所：H211 教室

参加者

専任12名、吉岡、石野、上野、太田、ガート、百海、中村、三浦、水上、村上、森田、山田
非常勤12名、小川、川辺、山田ゆ、米谷、黒崎、塩田、川岸、改田、小西、太田望、竹田、田中

開始に先立ち、太田学科長より挨拶があった。

<テーマ>

「学科の学位プログラムレベルと科目レベルで学習成果の達成状況を評価し査定（アセスメント）する」 ～学修評価シートの項目から各自の授業内容を検討する～

上記をテーマとして、村上先生の進行で会議が進められた。

（内容）

（1） 幼児教育学科の教育体系

Kinjo Campus Guide 2021 より、14 ページ記載の資料から説明があった。入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）（1）～（3）は入学前のことであり、3つに当てはまるような人物を入学者として求めている。入学した後は、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の方針に従い教育する。また、それに基づいてカリキュラムを編成している。そして、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる4項目を修め、卒業要件を満たした学生に対し、学位を授与している。また、ディプロマ・ポリシーをより具体化したのが学習成果である。13項目からなる学習成果は、毎年の学生の状況を踏まえながら、少しずつ修正を加えており、この13項目を学生に学ばせ、身に付けさせたいと考えている。



(2) 学習成果（学修評価シート）の項目を元に検討

学修評価シート（幼児教育）に記載の①～⑬までの学習成果に基づいた、各科目での◎、○について説明があった。◎や○は、各科目で特に授業で意識して行うことに該当する。それに基づいて、授業の中で反映させてシラバスの達成目標・到達目標等に内容を盛り込んでほしい。

(3) 学修評価シートの授業内容（学習成果）の項目を確認する

資料の学修評価シート（幼児教育）の①～⑬は、2021年度入学生より実施している項目である。前期終了後に振り返りの時間、見つめ直しの時間があり、その学びが蓄積され、卒業時に「KINJO学修カルテ」として、一人ひとりに2年間の学習成果を提示している。2020年度の「学習成果評価項目」は15項目あったが、そのうちの3項目を成績に反映すると、学生の達成感にズレが出ていたことから、2021年度入学者からは、13項目に修正をした。しかし、この3項目は、社会の中で生き抜くために重要なことであり、幼児教育学科の教員で守らせたいと考えている。

(4) その他

- ・百海先生より、新型コロナウイルス感染症対策についての再度確認と、後期授業開始に向けての徹底事項についての話があった。それに対し、小西先生より、ワクチン接種を促すことはよいのかとの質問があり、国では接種を進めているが、強制力はないので、学生一人ひとりの意思に任せていると回答した。

- ・吉岡副学長より、「金城子育て支援センター（KINJO CSC）」の正式発足についての案内があった。大学との連携事業として、2022年4月に開設するために、現在準備を進めている。保護者や教員、学生がともに学び合い、地域の子育てを支援する場所となることを目指し、今後幅広く活動できるのではと期待している。試行段階として、6月、7月に1回ずつ「KINJO おやこひろば」を開催した。詳しくはホームページにも掲載されている。

- ・山田先生より、2年生の実習についての報告があった。新型コロナウイルスの影響で、去年は施設実習を代替え授業とし、8月と9月に保育園と幼稚園での実習を全て行った。今年も様々な事情はあるものの、保育者育成を止めてはならないという現場の声を励みに、実習に臨んでいる。一部の施設実習で実習場所を変更しているが、ほとんどは予定通り行っている。しかし、まだまだ予断を許さない状況であるので、日々の感染状況を注視しながら、今後さらに学生も自己管理を徹底させて、実習指導を行っていくことを報告した。

- ・水上先生より、科目名変更の件について、来年度より「器楽」という名で行っていたピアノの授業を、「子どもの音楽表現演習」という名に科目名を変更することを伝えた。

- ・森田先生より、1、2年各教室のプロジェクター6台を新規購入したことが報告された。

- ・吉岡副学長より、閉会の挨拶があり会議終了とした。